

敷津小学校 校長 原 雅史



「そんなこと言っても、わたしはあまり物おぼえがよくないし」「ぼくも、そんなにかしこくないで」という人もいるかもしれません。でも心配ありません。実は、人はみなすごかしこい生き物なのです。もちろん、敷津小の子どもたちですよ。自分から学ぼうと思ったことは、本当によく頭に入るようになっていくのです。

たとえば、「鬼滅の〇〇」「〇〇ピース」などみなさんにも人気のマンガがありますよね。コミック（たん行本）で読んでいる人も多いたと思います。たとえば新しくでた20かんを読むときに、そこに出てくる主人公の名前をわすれてしまった人はいないと思います。19かんを読んだのがだいぶ前でも、その内ようや主人公の名前はもちろん、ラスボスの名前から、とくちょう、味方の名前やひっさつわざまで、ストーリーを細かくおぼえていると思います。それこそ、毎日ふく習しなくても、1回読んだだけで、しっかり頭の中に入っていきます。読みなさいといわれていたらむ理かかもしれませんが、自分で読もうと思った本なので、全部頭の中に入ってくるのです。

ゲームでも同じことがいえます。む人島から村やまちをつくるゲームでも、前の日に何をしたのかおぼえていない人はいない

と思います。それどころか、何をしても自由、だれかに〇〇しなさいと言われるゲームではないので、全部自分の思った通りに、家をたてたり、釣りをしたり…。そう、自主てきに行動するゲームです。だからこそ、全部頭の中に入ってくるのです。

どうでしょうか。みなさんも、実は毎日生きていく間でも、「自主てき」に自分から進んで行ったことがらは、全部自分の頭の中に入ってくるのです。勉強も同じなのです。本当は、学校で先生方から、勉強の楽しさを、学ぶ面白さを教えてもらい、自分から勉強に進んでいくほうがいいのですが、今はそれができません。そこで、みなさんにあえて「勉強してください」とおねがいしているわけです。これを読んでから勉強をはじめても、少し「自主てき」ではないかもしれませんが、それでもかまいません。校長先生の話は、あくまでもきっかけで、これを読んで、「さあ、がんばろう！」と思ったのはまちがいなくあなたなのです。だから、立ばな「自主てきな学び」だと校長先生は思います。

（続きはまた次回にお話しします）